



学校だより

横浜市立相武山小学校

9月号

令和8年8月28日

～ まちのみんな ひとつになあれ ～

備えることの大切さ

横浜市立相武山小学校
学 校 長

暑さの中にも朝夕は涼しさが感じられるようになり、少しずつ秋の訪れを感じる頃となりました。

夏休み中に開催された地域の夏祭りや親じ会のイベントでは、友達や家族と楽しそうに過ごす子どもたちの笑顔に数多く出会いました。こうした地域の温かなつながりの中で子どもたちが健やかに育っていることを大変うれしく感じるとともに、日頃より本校の教育活動を支えてくださる保護者・地域の皆様に深く感謝申し上げます。

この夏休み中に発生した「令和8年熊本地震」では、最大震度7の揺れにより多くの尊い命が失われ、甚大な被害が発生しました。さらに8月には、千葉県を中心に記録的な大雨による浸水被害が広い範囲で発生しました。被害に遭われた皆様に心よりお見舞い申し上げますとともに、お亡くなりになられた方々に謹んで哀悼の意を表します。また、一日も早い復旧・復興を心よりお祈り申し上げます。

自然災害はいつ起こるか分かりません。本校は「地域防災拠点」に指定されており、いざという時に被災された方々が安心して過ごせる避難所として機能できるよう、地域の皆様と協議を重ねています。一方で、横浜市では、自宅に大きな被害がない場合には、慣れ親しんだ環境で生活続けることができる「在宅避難」を推奨しています。避難所での生活の負担を軽減し、少しでも日常に近い生活を送るためにも、この機会にご家庭での備えを改めて見直してみたいはいかがでしょうか。家具の固定やガラスの飛散防止、水や食料品の備蓄、携帯トイレの準備や、モバイルバッテリー、カセットコンロ、常備薬などを備えておく心安心です。自分の身を守る「自助」、地域で助け合う「共助」、行政による「公助」。それぞれの役割を意識しながら、学校・家庭・地域が一体となって子どもたちの安全を守っていききたいと考えています。

また、防災とあわせて、防犯への備えも強化しています。夏休み中には、港南警察署のご協力のもと、全教職員で「不審者侵入防止研修」を実施しました。今回は、実際に不審者が校内へ侵入し、児童への危害が懸念される状況を想定した実践的な訓練でした。港南警察署の方に不審者役を務めていただき、初期対応から不審者の確保、警察への引き渡しまでの一連の流れを検証しました。訓練を通して多くの課題も見つかり、「より安全に、より確実に子どもたちを守るためにはどうすればよいか」を改めて考える貴重な機会となりました。研修後の振り返りでは、「不審者を学校内に侵入させないこと」が最も重要であることを改めて確認しました。そのため、今後は防犯対策強化の一環として、ご来校の際にはインターホンのカメラに保護者証を映していただくようお願いいたします。保護者の皆様にはご不便をおかけしますが、子どもたちの安全を守るための大切な取組です。趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

子どもたちが安心して学び、健やかに成長できる学校づくりのため、教職員一同、引き続き努めてまいります。今後とも本校の教育活動へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。